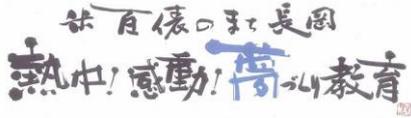


令和6年11月12日

報道機関各位



長岡市立深沢小学校長

長岡技科大の学生と意見交換 深沢小が「住み続けられるまちづくり」について考えます

深沢小学校は、3・4年生が総合的な学習の時間にSDGsをテーマに、自分たちが地域に貢献できることを考えています。

これまで、「長岡市防災玉手箱^{※1}」を使って防災について学習したり、中越大震災20年事業で防災について学んだことを発表したりする中で、地域のために自分たちができることを考え、まとめてきました。

このたび、長岡技術科学大学の「学生SDGsプロモーター^{※2}」のみなさんと一緒に「深沢の町づくり」について話し合い、住み続けられる町づくりのためにはどんなことが必要なのかを、大学生と意見交換します。日本で唯一の「SDGハブ指定大学^{※3}」に2期連続で任命されており、「わが町の大学」である長岡技術科学大学との交流をとおして、さらにSDGsへの理解や学びを深めます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

深沢小 3、4年生「深沢の町づくり」のために私たちができること

- | | |
|-------|--|
| 1 日 時 | 11月18日（月） 午前9時30分～11時 |
| 2 会 場 | 長岡技術科学大学（新潟県長岡市上富岡町1603-1） |
| 3 内 容 | SDGsの学習で学んだことをもとに、「深沢の町づくり」のために自分たちができることについて、大学生と意見交換します。 |
| 4 参加者 | 3・4年生児童全員 6人、長岡技術科学大学学生 数人 |

※1 長岡市防災玉手箱

長岡市内の小・中学校の防災教育の授業に活用できる教材（防災学習プログラム、講師派遣、参考資料など）を、「玉手箱」を模した箱にひとまとめに分かりやすく収納したもの。

※2 学生SDGsプロモーター

長岡技術科学大学のSDGs学生組織。さまざまな活動で学内外でのSDGsの普及啓発を推進する。

※3 SDGハブ指定大学

国連アカデミック・インパクトがSDGsに関する教育や学校としての取り組みに優れた大学をモデル例として指定したもの。17の目標ごとに世界で1校ずつハブ大学を選出しており、長岡技科大はゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」のハブ大学に2期連続で任命されている。

（問い合わせ：長岡市立深沢小学校 校長 藤井 TEL0258-46-3665）